

2020年1月31日

味の素(株)、タイの包装材料事業会社の全株式を 合併パートナーに譲渡する契約に合意

味の素株式会社（社長：西井孝明 本社：東京都中央区）は、本日、当社グループが51%保有するタイの包装材料事業会社であるフジエース社（以下「FA社」）の全株式を、合併パートナーである株式会社フジシールインターナショナル（以下「FSI社」）へ譲渡する契約を取り交わすことに合意しました。

1. 株式譲渡契約の概要

- (1) 契約相手先：株式会社フジシールインターナショナル
- (2) 契約締結日：2020年2月5日（予定）
- (3) 譲渡株式数：25,500,000株
- (4) 譲渡価額：1,244百万タイ・バーツ（約45億円）
- (5) 株式譲渡実行日：2019年度第4四半期（予定）

* 1タイ・バーツ=3.63円（2019年12月末レート）

2. 背景

当社は、拡大が期待される海外食品事業の競争力強化のために製造コストの大部分を占める包装材料の製造・販売拠点として、1995年にタイに、包装材料メーカーのFSI社（当時は株式会社フジシール）と合併でFA社を設立しました。以来20年以上にわたりFA社は、当社グループの海外食品事業拡大に重要な役割を果たしてきました。現在、アセアン地域における当社グループ法人の他、タイ国内およびアジア各国で順調に顧客を拡大しています。このような販売先拡大の結果、グループ外法人への販売構成比が相対的に上昇しています。

こうした状況の変化から、当社がグループ内に包装材料事業会社を保有する意義は薄れており、FA社のさらなる発展のためにはFSI社の元で事業展開を行うべきであると判断し、FSI社と協議を重ねた結果、このたび、当社グループの保有するFA社の全株式をFSI社へ譲渡することで合意しました。

3. 業績への影響

本件が当期の連結業績に与える影響は軽微です。

当社は次期2020-2022中期経営計画において、持続的な成長のためのさらなる事業構造変革を進めていきます。このたびの株式譲渡により、成長事業領域への経営資源の重点化を図り、お客様への新たな価値提供を続けていきます。

参 考

■フジエース社の概要

- (1) 会 社 名 : Fuji Ace Co., Ltd.
- (2) 所 在 地 : タイ王国バンコク都
- (3) 設 立 時 期 : 1995年
- (4) 代 表 者 : 社長 中根 俊幸 (なかね としゆき)
- (5) 売 上 高 : 4,568百万タイ・バーツ (約157億円、2019年3月期)
- (6) 従 業 員 数 : 正社員953名、派遣社員300名 (2019年9月時点)
- (7) 事 業 内 容 : 包装材料の製造および販売、包装機器の販売
- (8) 資 本 金 : 500百万タイ・バーツ (約17億円)
- (9) 株 主 構 成 : 味の素グループ 51%、FSI社 49%

■フジシールインターナショナル社の概要

- (1) 会 社 名 : 株式会社フジシールインターナショナル
- (2) 所 在 地 : 大阪本社 大阪市淀川区宮原4丁目1番9号
東京本社 東京都千代田区丸の内1丁目9番1号
- (3) 設 立 時 期 : 1958年
- (4) 代 表 者 : 取締役 代表執行役社長 岡崎 成子 (おかざき しげこ)
- (5) 売 上 高 : 162,189百万円 (2019年3月期連結)
- (6) 従 業 員 数 : 4,703名 (グループ連結、2019年3月末時点)
- (7) 事 業 内 容 : 包装材料を中心としたパッケージングシステムの企画、提案、開発、製造および販売等
- (8) 資 本 金 : 5,990百万円 (グループ連結、2019年3月期)

味の素グループは、食とアミノ酸の分野で、先端バイオ・ファイン技術が先導する、確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニーを目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.” をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求することで、事業を通じて世界中の人々のウェルネスに貢献し、地域や社会とともに価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。味の素グループの2018年度の売上高は1兆1,274億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります (2019年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。